

平成28年度 教育部学校教育担当部長の目標宣言 達成状況報告

教育部学校教育担当部長 大高 敏夫

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	特色ある教育モデル推進事業 (指導室)	・モデル校の大山小学校において英語教育及び外国語活動の強化、自然・伝統文化を活かした教育、ICT機器の活用を柱とする特色ある教育活動を推進するとともに、実践事例や成果等の全小中学校への普及を図ります。	[目標値] ・モデル校において外国語指導助手(ALT)が行う高学年を対象とした年間授業時数 53回	・モデル事業3年目に入り、特色ある教育活動を推進しました。 [今後の取組の方向性] ・引き続き継続実施していきます。特に英語教育及び外国語活動については、次期学習指導要領の改訂に伴う外国語活動と英語科の導入の準備のため、大山小の実践事例や成果を各小学校で共有し研究していくように図ります。	[実績値] ・モデル校において外国語指導助手(ALT)が行う高学年を対象とした年間授業時数 53回
2	小学校教科担当制等推進事業 (指導室)	・桜台小学校及び比々多小学校、伊勢原小学校の高学年において教科担当制を実施し、学力向上と中学校生活への適応を図ります。 ・桜台小学校へ伊勢原中学校の英語科教員を派遣し、派遣教員の後補充として中学校に非常勤講師を配置します。 ・比々多小学校へ理科非常勤講師を配置します。 ・伊勢原小学校へ中沢中学校の理科教員と理科非常勤講師を派遣し、派遣教員の後補充として中学校に非常勤講師を配置します。	[目標値] ・小学校教科担当制に係る非常勤講師の配置人数 3人	・下記の学校で教科担当制を実施し、学力向上と中学校生活への適応を図りました。 ・桜台小学校へ伊勢原中学校の英語科教員を派遣し、派遣教員の後補充として中学校に非常勤講師を配置しました。 ・比々多小学校へ理科非常勤講師を配置しました。 ・伊勢原小学校へ中沢中学校の理科教員と理科非常勤講師を派遣し、派遣教員の後補充として中学校に非常勤講師を配置しました。 [今後の取組の方向性] ・非常勤講師の派遣校を変えて、効果を検証しながら事業の推進を図ります。	[実績値] ・小学校教科担当制に係る非常勤講師の配置人数 3人
3	外国語教育推進事業 (指導室)	・全小学校において、外国語指導助手(ALT)による指導の時間を拡充し、小学校の外国語活動のさらなる充実を図ります。	[目標値] ・小学校各学級(5, 6年)における年間平均ALT授業時数 17回	・全小学校において、外国語指導助手(ALT)による指導の時間を拡充し、小学校の外国語活動のさらなる充実を図りました。 [今後の取組の方向性] ・ALTによる指導の授業数を維持しながら、担任、外国語指導助手の連携による指導法の研究推進を図ります。	[実績値] ・小学校各学級(5, 6年)における年間平均ALT授業時数 17回
4	小中学校学習活動支援事業 (指導室)	・小学校低学年における35人学級編制への対応などや、基本的な生活習慣の定着、学力の向上を図るため、非常勤講師及び指導補助員を継続して配置します。	[目標値] ・小学校 非常勤講師 1人 指導補助員10人 ・中学校 指導補助員 5人	・非常勤講師及び指導補助員を配置し、基本的な生活習慣の定着、学力の向上を図るため、きめ細やかな指導の充実に努めました。 [今後の取組の方向性] ・学校現場の状況を把握しながら、今後も非常勤講師及び指導補助員を継続して配置します。	[実績値] ・小学校 非常勤講師 1人 指導補助員10人 ・中学校 指導補助員 5人

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
5	特別支援教育環境整備事業 (教育センター)	・引き続き特別支援学級に介助員を配置し、児童生徒の学習活動や日常生活を支援します。	[目標値] ・小学校 介助員 15人 ・中学校 介助員 6人	・特別支援学級に介助員を配置し、障害のある児童生徒の学習活動や日常生活を、個々の状況に応じて支援しました。 [今後の取組の方向性] ・引き続き特別支援学級に介助員を配置し、特別支援学級の教育活動を支援します。	[実績値] ・小学校 介助員 15人 ・中学校 介助員 6人
6	通級指導教室推進事業 (教育センター)	・通級指導教室「ことばの教室」「まなびの教室」の円滑な運営及び指導を推進することにより、児童や保護者及び児童が在籍する学級や学校を支援します。	[目標値] ・「ことばの教室」の受入可能児童数 28人 ・「まなびの教室」の受入可能児童数 28人	・通級指導教室「まなびの教室」「ことばの教室」の円滑な運営及び指導を推進することにより、児童の抱える課題の改善が見られました。 [今後の取組の方向性] ・「まなびの教室」を1クラス増設し、引き続き通級指導教室「まなびの教室」「ことばの教室」の運営と指導等の充実を図ります。	[実績値] ・「ことばの教室」の通級児童数 28人 ・「まなびの教室」の通級児童数 30人
7	教育相談事業 (教育センター)	・スクールカウンセラー及び教育相談員の配置により、支援を必要とする児童生徒や保護者の相談に応じます。また、児童生徒への支援のために、学校との連携を図ります。	[目標値] ・小学校スクールカウンセラーによる相談回数 1,600回	・スクールカウンセラー及び教育相談員を配置し、支援を必要とする児童生徒や保護者の相談に応じ、課題の改善と、問題の深刻化・複雑化を防ぐ効果を上げています。 [今後の取組の方向性] ・小学校でのスクールカウンセラー配置日数を増やし、引き続き児童生徒の健やかな成長を支援するため、学校と連携しながら教育相談の充実を図ります。	[実績値] ・小学校スクールカウンセラーによる相談回数 1609回
8	訪問型家庭支援事業 (教育センター)	・家庭と福祉をつなぐスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、児童生徒が安心して学校教育が受けられるように、支援を行います。	[目標値] ・家庭、学校等へのスクールソーシャルワーカー(SSW)の訪問回数 220回	・スクールソーシャルワーカーを配置し、課題を抱えた児童生徒本人と学校や家庭など環境への働きかけを行い、課題の改善と、問題の深刻化・複雑化を防ぐ効果を上げています。 [今後の取組の方向性] ・引き続きスクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒が安心して学校教育が受けられるように、支援を行います。	[実績値] ・家庭、学校等へのスクールソーシャルワーカー(SSW)の訪問回数 223回
9	小中学校における食育教育推進事業 (学校教育課) (指導室) 中学校給食導入検討事業 (学校教育課)	・児童生徒に対し、栄養バランスのとれた食生活を促し、望ましい食習慣を形成するよう、発達の段階に応じた食育を推進します。 ・また、市内中学校における給食導入に向け、様々な手法を検討します。	[目標値] ・地場食材を市内生産者から直接納入して使用する学校数 小学校10校 ・食に関する授業および骨密度測定を実施する学校数 中学校 4校 ・先進市視察箇所 3箇所	・地場食材を市内生産者から直接納入して学校給食に使用しました。 ・中学校における食に関する授業および骨密度測定を実施しました。 ・中学校給食導入検討については、教育委員会議の中で情報提供を行うとともに、先進市視察を実施しました。 [今後の取組の方向性] ・引き続き児童生徒の発達の段階に応じた食育を推進し、市内中学校における給食導入に向け、課題を整理し、様々な手法を検討します。	[実績値] ・地場食材を市内生産者から直接納入して使用する学校数 小学校 10校 ・食に関する授業および骨密度測定を実施する学校数 中学校 4校 ・中学校給食導入検討に係る先進市視察箇所 2箇所

